

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350021	X-21-B-3-350021	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
国際研究特論2	小山田 紀子			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	1年		

授業目的

2018年から2019年にかけて担当者（小山田）は、海外研修として南フランスのエク・アン・プロヴァンスに滞在した。この地はかつて大学院時代に留学していたところであるが、フランスの植民地研究のメッカとして、国立海外文書館やいくつかの研究機関がある。おりしもフランスは、黄色いベスト運動が繰り広げられていたし、私の専門とするアルジェリアは大統領選挙をめぐる市民運動が展開されていた時であった。

この授業では、アルジェリアの歴史と現在について担当者の研究の一部を紹介すると同時に、フランス・アルジェリア関係を中心に両国の今日的状況についても述べる。

まず第1に、アルジェリアの地理と歴史概要について述べた上で、アルジェリアの近現代史をテキスト（バンジャマン・ストラ『アルジェリアの歴史』）に沿って述べていく。フランスの武力によるアルジェリア征服と植民地化について踏まえた上で植民地支配の構造についての分析を明らかにする。そしてアルジェリア植民地の状況の中で両大戦間期にどのように民族運動が芽生え発展していったのかについて述べる。独立戦争の勃発については映像を交えて学ぶ。アルジェリアの独立後アルジェリアの国家建設はどのように進むのか、開発政策と民主化の動き、そして内戦について歴史的に紹介していく。最後に、内戦後の今日、アルジェリアはどのような状況に置かれているのか、2018～19年の様子について現地の情報から紹介する。

各回の授業内容

<p>第1回</p> <p>【授】 アルジェリアという国—地理と歴史概要—</p> <p>【前・後】 復習時間1時間。講義内容をノートにまとめて復習する。</p> <p>第2回</p> <p>【授】 アルジェリア征服とフランスによる植民地化</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第3回</p> <p>【授】 フランスの土地政策と入植民社会の形成</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第4回</p> <p>【授】 植民地化の進展とアルジェリア社会の変容</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第5回</p> <p>【授】 両大戦間期のアルジェリア民族運動の萌芽</p> <p>【前・後】 復習2時間。配布資料を読んでノートのまとめ</p> <p>第6回</p> <p>【授】 アルジェリア民族運動の展開（1）</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第7回</p> <p>【授】 アルジェリア民族運動の展開（2）</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第8回</p> <p>【授】 独立戦争の勃発</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p>	<p>第9回</p> <p>【授】 ドゴールとアルジェリア戦争</p> <p>【前・後】 復習2時間。配布資料を読んでノートのまとめ</p> <p>第10回</p> <p>【授】 独立交渉とエビアン協定の締結—脱植民地化とフランスへの引揚者の歴史—</p> <p>【前・後】 復習2時間。配布資料を読んでノートのまとめ</p> <p>第11回</p> <p>【授】 独立後の国家と社会—ブーメディエン大統領の開発政策</p> <p>【前・後】 復習2時間。配布資料を読んでノートのまとめ</p> <p>第12回</p> <p>【授】 1980年代以降の民主化運動と内戦の勃発</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第13回</p> <p>【授】 内戦終結以降のアルジェリア—2000年～2019年—</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第14回</p> <p>【授】 ブーテフリカ大統領後のアルジェリアはどこに行くのか—フランス・アルジェリア関係から—</p> <p>【前・後】 復習2時間。ノートのまとめ</p> <p>第15回</p> <p>【授】 定期試験（レポート）</p> <p>【前・後】 レポートの作成に4時間必要。</p> <p>第16回</p> <p>【授】 第8回に、アルジェリア戦争について映像資料などの感想をレポートとして作成してもらう。（中間レポート）</p> <p>【前・後】 レポート作成に3～4時間必要。</p>
--	---

成績評価方法

期末試験としてのレポート（50%）、中間レポート課題（30%）、授業への参加状況（20%）を合わせて総合的に評価する。各回にコメントペーパーを書いてもらい、次回にそれを紹介したり、質問したりして、教員と学生の双方向的な授業を進める。

教科書・参考書

テキスト  
バンジャマン・ストラ著、小山田紀子・渡辺司訳『アルジェリアの歴史』明石書店、2011年

参考書  
宮治一雄・宮治美江子他『マグリブへの招待—北アフリカの社会と文化』大学図書出版、2008年  
尾上修吾『「社会分裂」に向かうフランス』明石書店、2018年11月  
尾上修吾『「黄色いベスト」と底辺からの社会運動』明石書店、2019年12月

受講に当たっての留意事項

授業時間の話を聞いて、そのテーマに関心を持ってもらいたい。出席を重視する。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

フランス植民地帝国の中心に位置していたアルジェリアの歴史を通して、植民地化・植民地支配・脱植民地化の歴史についての知識を得て、国際社会、特に現代のグローバル化世界を見る新しい視点を獲得してもらいたい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習